

調査対象医薬品一覧

別添1

一般名	販売名	承認取得者	効能・効果	用法・用量
リンコマイシン塩酸塩水和物	リンコシン注射液300mg 等	ファイザー（株）等	<p><適応菌種> リンコマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属</p> <p><適応症> 敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、乳腺炎、骨髄炎、関節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱</p>	<p>[静脈内注射] リンコマイシン塩酸塩水和物として、通常成人は、1回600mg（力価）を1日2～3回点滴静注する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>[筋肉内注射] リンコマイシン塩酸塩水和物として、通常成人は、1回300mg（力価）を1日2～3回、又は1回600mg（力価）を1日2回筋肉内注射する。 小児には、1回体重1kgあたり10～15mg（力価）を1日2～3回筋肉内注射する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
塩酸スペクチノマイシン	トロビシン注 等	ファイザー（株）	<p><適応菌種> スペクチノマイシンに感性の淋菌</p> <p><適応症> 淋菌感染症</p>	<p>[筋注] スペクチノマイシンとして、通常成人は2g（力価）を1回臀部筋肉内に注射する。また、2g（力価）1回投与にて効果の不十分なときは、4g（力価）を1回追加投与する。4g（力価）投与は左右の臀筋の2箇所に分けてもよい。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
エンビオマイシン硫酸塩	ツベラクチン筋注用1g	旭化成ファーマ（株）	<p><適応菌種> エンビオマイシンに感性の結核菌</p> <p><適応症> 肺結核及びその他の結核症</p>	<p>通常成人には、エンビオマイシン硫酸塩として1日1回1g（力価）を注射用蒸留水に溶解〔1g（力価）当り2～4mL〕し、筋肉内に注射する。 初めの90日間は毎日、その後は1週間に2日投与する。 なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。 また、他の抗結核剤と併用することが望ましい。</p>
キヌプリスチン/ダルホプリスチン	注射用シナシッド	サノフィ・アベンティス（株）	<p><適応菌種> キヌプリスチン・ダルホプリスチンに感性のバンコマイシン耐性エンテロコッカス・フェシウム</p> <p><適応症> 各種感染症</p>	<p>通常、成人にはキヌプリスチン・ダルホプリスチンとして、1回7.5mg/kg、1日3回、60分かけて点滴静注する。本剤の溶解には5%ブドウ糖液又は注射用水を用い、希釈には5%ブドウ糖液を用いること。糖尿病患者に対しては10%マルトース液を用いてもよい。なお、生理食塩液やヘパリン含有液は用いないこと。</p>
セフチゾキシムナトリウム	エポセリン坐剤125 等	長生堂製薬（株）	<p><適応菌種> セフチゾキシムに感性のレンサ球菌属、肺炎球菌、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ・メラニノジェニカ</p> <p><適応症> 急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎</p>	<p>通常、小児に体重kg当りセフチゾキシムとして1日20～70mg（力価）を、3～4回に分けて肛門内に挿入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
サラゾスルファピリジン	サラゾピリン坐剤500	ファイザー（株）	潰瘍性大腸炎	<p>通常、成人には1回1～2個を1日2回、朝排便後と就寝前に、肛門内に挿入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

製剤分類*	期間分類†	報告数		アレルギー歴																																								
				合計													あり						なし						不明															
				皮内反応実施状況																																								
				あり										なし		不明		あり										なし		不明														
				皮内反応実施時の結果										なし		不明		皮内反応実施時の結果										なし		不明														
うち死亡		計	うち死亡	陰性	うち死亡	陽性	うち死亡	不明	うち死亡	なし		不明		なし		不明		なし		不明		あり					なし		不明															
うち死亡										うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡	うち死亡														
期間別合計	期間5	173	10	62	4	57	4	1	4	56	2	56	4	16	1	1		6	1	14		33	2		2	33	1	31	4	8	1		2	16	11									
	期間6	221	11	47	2	45	2	1	1	68	3	106	6	8				14		20	1	33	2	1		46	2	58	4	4		1	8	1	28	1								
	期間7	191	15	22	1	22	1			69	4	100	10	7				22	2	15	1	14	1			40	2	61	6	1			7	24	3									
	期間8	187	9	12	3	11	3		1	74	2	101	4	4	1			18	2	31	1	6	2			42		49	3	1		1	14	21										
	期間9	195	12	7	1	7	1			50	4	138	7	3				12	2	30	2	3				29	1	76	2	1	1		9	1	32	3								
	全合計	1570	82	363	21	347	20	7	1	9	0	516	20	693	41	93	4	4	0	0	0	124	10	152	7	223	11	2	0	5	0	309	8	362	22	31	5	1	1	4	0	81	2	179

- * A:ペニシリン系
- B:セフェム系
- C:モノバクタム系
- D:カルバペネム系
- E:アミノグリコシド系
- F:グリコペプチド系
- G:テトラサイクリン系
- H:マクロライド系
- I:キノロン系
- J:その他
- K:坐剤

- † 期間1:平成11年10月1日～平成12年9月30日
- 期間2:平成12年10月1日～平成13年9月30日
- 期間3:平成13年10月1日～平成14年9月30日
- 期間4:平成14年10月1日～平成15年9月30日
- 期間5:平成15年10月1日～平成16年9月30日
- 期間6:平成16年10月1日～平成17年9月30日
- 期間7:平成17年10月1日～平成18年9月30日
- 期間8:平成18年10月1日～平成19年9月30日
- 期間9:平成19年10月1日～平成20年9月30日

